

山口県教育振興基本計画

改定版(案)

平成27年2月

山口県教育委員会

改定の趣旨・内容

山口県教育委員会では、少子高齢化の進行やグローバル化、高度情報化の進展など、本県教育を取り巻く環境の変化や、本県の子どもの状況、国の教育改革の動向等も的確に捉えた上で、平成25年10月に、本県教育がめざす方向性と施策等を示した新たな指針として、山口県教育振興基本計画（以下「教育振興基本計画」）を策定し、本県教育の振興に向けた様々な施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

一方、平成27年3月には、新たな県政運営の指針として、今後、県が進める政策の基本的な方向をとりまとめた総合的な計画であり、かつ、その方向性に沿って取り組むべき具体的な施策を掲げた実行計画でもある「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」（以下「チャレンジプラン」）が策定されます。

このチャレンジプランは、本県の施策別計画・構想等の最上位の計画となることから、現行の教育振興基本計画の目標や位置付け、計画期間、30の施策などの基本的な枠組みを継承しつつ、具体的な施策の展開に際して、チャレンジプラン（最終案）の重点施策や活力指標を踏まえながら、「10の緊急・重点プロジェクト」の取組内容や50の「主な推進指標」の目標値等について、チャレンジプランと教育振興基本計画の整合性を確保したものです。

計画の位置づけ

本計画は、チャレンジプランにおいて、県づくりの基本目標として掲げる、「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、本県教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための基本的な方針や取組を明らかにするものです。

また、教育基本法第17条第2項に定める本県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

計画期間

平成25年度（2013年度）から平成29年度（2017年度）までの5年間
（平成27年3月一部改定）

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29					
山口県	山口県教育ビジョン（H10.3策定） H10～24（15年間）															山口県教育振興基本計画 H25～29（5年間）									
																改定教育振興 基本計画									
国																教育振興基本計画					第2期教育振興基本計画				

計画の全体像

本県教育をめぐる状況

教育を取り巻く環境

- 1 少子高齢化の進行と家庭・地域社会の変容
- 2 グローバル化・高度情報化の進展と知識基盤社会化
- 3 雇用環境の変化
- 4 東日本大震災の教訓

子どもの状況

- 1 子どもの学力・学習状況
- 2 子どもの意識
- 3 子どもの体格・体力
- 4 児童生徒の問題行動等

教育目標: 未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

- やまぐちっ子のすがた
- 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
 - 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付け、他者とのつながりを大切にしながら力強く生きていく人
 - 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

目標達成に向けて

3つの力(学ぶ力、創る力、生き抜く力) 3つの心(広い心、温かい心、燃える心)の育成

施策の展開

総合的・計画的な施策の推進

- 3つの
施策の柱
- 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
 - 質の高い教育環境づくりの推進
 - 生涯にわたる県民総参加の教育の推進

30の施策

50の主な推進指標

重点化

10の緊急・重点プロジェクトの推進

- ①地域ぐるみの教育推進プロジェクト
- ②確かな学力育成プロジェクト
- ③豊かな心育成プロジェクト
- ④子ども元気創造プロジェクト
- ⑤グローバル人材育成プロジェクト
- ⑥ものづくり人材育成プロジェクト
- ⑦魅力ある学校づくりプロジェクト
- ⑧安心・安全な学校づくりプロジェクト
- ⑨教職員人材育成プロジェクト
- ⑩世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

計画の着実な推進

- 市町教委、関係機関・関係団体等との連携
- 教育委員会の事務の点検・評価
- 外部意見の反映

1 教育目標、目標達成に向けて

◆ 本県教育の目標

ひら 未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

- 少子高齢化の進行やグローバル化、高度情報化の進展など大きく変化が予想されるこれからの社会において、夢や目標を志に高め、他者とのつながりを大切にするとともに、自信と希望をもって自らの将来や社会を力強く切り拓いていく子どもたちを育てていくことが必要です。
- このため、本県教育の目標を「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」として掲げ、教育内容や指導・支援体制の充実、教育環境の整備など、学校、家庭、地域が一体となった取組を推進します。

めざす「やまぐちっ子」のすがた

★ 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人

- ・ 一人ひとりの願いや思いを、未来への大いなる夢や理想へと高め、その実現に向けた強い意志を有している。
- ・ 将来に対し希望をもちながら、自らを高めるための努力を惜しまず、未知なるものへ進んで挑戦する態度や困難を乗り越える態度、新しいものを取り入れようとする態度を身に付けている。

★ 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付け、他者とのつながりを大切にしながら力強く生きていく人

- ・ 志をもちながら未来に向かって挑戦し続けるために必要な、学び続ける力やたくましさ、さらにはこれらを支える豊かな人間性を有している。
- ・ 他者を思いやり、共感したり、感謝したりする心を有するとともに、自己のよさや可能性を見出し、個性を發揮しながら、主体的に考え、判断し、行動するなど、自主・自立の精神に富んでいる。

★ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

- ・ 豊かな国際感覚をもち、幅広い視野で考え、行動することができる。
- ・ ふるさとの自然や人、伝統、文化を大切にする気持ちをもち続け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与している。

◆ 目標達成に向けて

教育目標の達成に向けて、子どもたちに「3つの力」、「3つの心」を育成します。

3つの力

学ぶ力

「これからの社会において求められる、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断を可能にする、生涯を通じて主体的に学び続ける力」

創る力

「社会構造が大きく変化する中、新たな価値を創造するなど、未来に向かって新しい発想で物事に取り組んでいく力」

生き抜く力

「自己を律しながら、社会の中で役割を果たす責任感や勤勉な態度を有し、多様な他者と連携協働しながら、様々な困難を乗り越えていく行動力」

3つの心

広い心

「互いの人格や価値観を受け入れ、尊重するとともに、互いに理解し協力し合う、前向きで広い心」

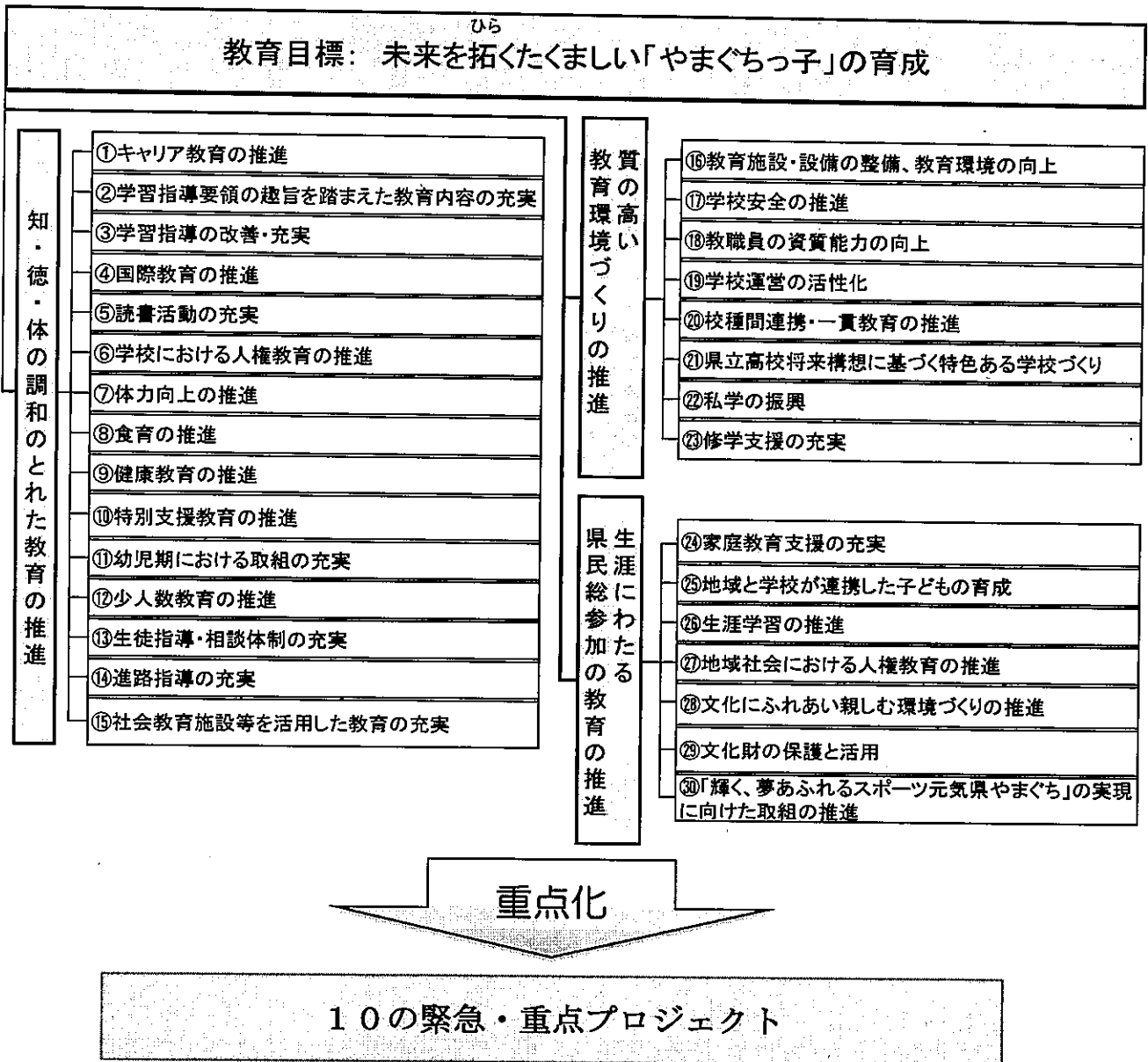
温かい心

「人間に対する深い愛情や自然・生命に対する畏敬の念などを基盤とした、豊かで温かい心」

燃える心

「大いなる夢や高い理想をもち、その実現をめざす、不撓不屈の意志や勇気など、熱く燃える心」

2 総合的・計画的な施策の推進



施策の展開に際しては、計画の進捗状況や国の動向等を踏まえる必要があることから、単年度の計画としての「山口県教育推進の手引き」を毎年度作成し、「教育活動の展開に当たっての基軸」や「全県共通テーマ」に基づき、学校等での取組の重点化を図ります。

【教育活動の展開に当たっての基軸】

「キャリア教育」「コミュニケーション能力を育む教育」「地域や伝統、文化を踏まえた教育」を基軸として、それぞれの教育活動を展開しながら、子どもの状況、時代や社会の変化に対応した様々な施策や取組等を推進します。

【全県共通テーマによる重点的な取組】

本県教育の現状や学校に求められることを踏まえて、年度ごとに設定する共通テーマについての取組を県内全ての公立学校が進めることで、本県の教育力の着実な向上を図ります。

3 緊急・重点プロジェクトの推進

変化の激しい時代にあって、子どもたち一人ひとりに力強く生き抜く力を育ていくためには、学力や体力の維持・向上はもとより、いじめや不登校問題への対応、家庭・地域の教育力の向上など、複雑・多様化する教育課題により的確に対応することが重要です。

とりわけ、人口減少・少子高齢社会にあって、核家族化や地域のつながりの希薄化が進行しており、学校、家庭、地域が一体となった本県らしい特色ある教育を推進していくためには、社会総がかりによる『地域教育力日本一』の取組による確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた教育を推進していくことが重要となっています。

また、経済、文化、科学技術など、様々な分野でグローバル化が進展しており、郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人材の育成や本県のものづくり産業を担う人材の育成に向けた教育を推進していくことが求められています。

さらに、こうした教育を推進していくためには、魅力ある学校づくりや安心・安全な学校づくり、さらには学校教育の直接の担い手である教職員の育成など、質の高い教育環境づくりを推進していく必要があります。

このほか、平成27年に本県で開催される「世界スカウトジャンボリー」は、子どもたちが国内外のスカウトと交流することにより、国際理解と健全育成を推進する絶好の機会です。

こうしたことから、これらの取組を、計画期間内に重点的に実施する「10の緊急・重点プロジェクト」として掲げ、具体的な工程表に沿って、本県の実情を踏まえた実効ある取組を推進します。

- ① 地域ぐるみの教育推進プロジェクト
- ② 確かな学力育成プロジェクト
- ③ 豊かな心育成プロジェクト
- ④ 子ども元気創造プロジェクト
- ⑤ グローバル人材育成プロジェクト
- ⑥ ものづくり人材育成プロジェクト
- ⑦ 魅力ある学校づくりプロジェクト
- ⑧ 安心・安全な学校づくりプロジェクト
- ⑨ 教職員人材育成プロジェクト
- ⑩ 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

① 地域ぐるみの教育推進プロジェクト

推進方向

「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」の活動を充実させ、学校、家庭、地域が連携・協働して次代を担う子どもたちの育成を図ります。また、多様な世代の交流を通して、地域の歴史や伝統文化等を次世代に伝える取組を進めます。

具体的な取組内容

- ◆ 「コミュニティ・スクール」が核となって各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校、家庭、地域が連携・協働することにより、社会総がかりで小中9年間の子どもの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進します。また、県立学校へのコミュニティ・スクールの導入についても検討します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「コミュニティ・スクール」の設置推進、優れた実践事例の普及				
	コミュニティ・スクール推進協議会の設置 山口CS(コミスク)コンダクターの配置(13市) 地域住民の理解、参画の推進に向けた住民意識調査の実施 県立高校・総合支援学校へのコミュニティ・スクールの検討・設置 【主な推進指標】コミュニティ・スクールの設置率(市町立小・中学校) 100%				

- ◆ 地域ぐるみで幼児期から中学校卒業程度までの子どもの育ちを見守り支援する「地域協育ネット」を全県で推進するために、コーディネーター等の養成を行うとともに、多様な人材の参画を得ながら、活動の充実を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	協議会の100%設置				
	「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」推進会議の設置				
	表彰制度の創設による好事例の普及				
	コーディネーター養成講座等を通じた地域人材の養成				
	地域と各学校をつなぐ統括コーディネーターの全中学校区への配置(100%)				
	多様な人材の参画、公民館や地域の関係団体等との連携促進				
	放課後子ども教室の充実、放課後児童クラブとの連携促進				
「やまぐち教育応援団」制度の登録・利用促進					
幼稚園や家庭教育アドバイザー等と連携した、乳幼児や小学生等の保護者が集う家庭教育講座や家庭教育サロンなどの実施					
アドバイザー養成講座の充実					
家庭教育支援チームについての啓発					
全市町設置					

- ◆ 山口県で生まれ育った先人などの歴史や伝統について世代を越えて学び次世代に伝えるため、地域の人材や史跡等を活用した講座の開催などによる三世代交流教育などの取組を推進するとともに、世界文化遺産等への登録や登録後の効果的な活用に向けた取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	先人学習コーナーの設置				
	山口県セミナーパークにおける三世代交流教育の推進 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産への登録促進と活用 大河ドラマ特別展「花燃ゆ」の開催				

② 確かな学力育成プロジェクト

推進方向

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や活用する力の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けて、PDCAサイクルによる授業改善の取組など学校における組織的な取組や家庭・地域と一体となった取組を推進します。

具体的な取組内容

- ◆ 小・中学校においては、全国トップクラスの学力をめざし、少人数学級化や少人数指導を推進します。また、学力向上に向けた明確な学校目標を設定して学校全体で取り組む体制づくりを進めるとともに、基礎的・基本的な内容の一層の定着と活用する力の育成をめざし、PDCAサイクルによる授業改善を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	少人数指導による学力に応じたきめ細かな指導の充実		学校からの提案による目的に応じた少人数指導の完全実施		
	少人数学級化や習熟度別指導の充実など一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実				
	35人学級化の継続実施				
	学力定着状況確認問題の充実		学力分析支援ツールを活用した検証改善サイクルの確立		
【主な推進指標】全国学力・学習状況調査平均正答率の全国平均との差 小・中学校全区分で全国平均を3ポイント上回る					

- ◆ 高等学校においては、生徒の夢を志に高める教育の実現に向けて、生徒の主体的・協働的な学びや、指導方法・評価方法の見直し、ICTの効果的な活用などを進めるとともに、今後の大学入試改革等に的確に対応できる取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	学習状況調査等の結果分析を踏まえた取組の推進				

- ◆ 県民総がかりで実現する学力向上の気運を醸成し、学校・家庭・地域が一体となって、「オールやまぐち」による学力向上の取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	コミュニティ・スクールや地域協育ネットを活用した外部人材による学習指導、家庭教育支援、校種間の連携や県内大学との連携の推進		山口県学力向上推進フォーラムの開催		
	「やまぐち学習支援プログラム」の提供等による学習習慣の確立				
	基本問題等の改訂		プログラムの強化		

③ 豊かな心育成プロジェクト

推進方向

子どもたち一人ひとりが規範意識や思いやりの心を育み、豊かな人間関係を築くことができるよう、道徳教育の推進や体験活動の充実を図るとともに、豊かな感性や創造性をもつ心豊かな子どもの育成に向け、文化芸術活動の充実を図ります。また、専門家や関係機関を活用した相談・支援体制の一層の充実を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 国における道徳の教科化に向けた動向を踏まえながら、指導力の向上に向けた研修体制の整備とともに、独自の指導資料の充実やふるさとにゆかりのある人材等の活用により、各学校における道徳教育の推進を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	独自の指導資料(心を育む学習プログラム part 2)の作成・配信、授業での活用		推進校での取組事例や資料の活用事例等の周知に向けた指導資料集を活用した指導の充実		
	「私たちの道徳」活用事例集等の指導資料の配布、授業での活用		ふるさとにゆかりのある人材、資料の活用		
	指導力向上に向けたセミナーの開催				

- ◆ 特色ある体験活動の充実による豊かな人間関係やふるさとを愛する心の育成に取り組むとともに、文化芸術活動の充実を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	全国中学校総合文化祭山口大会の開催	学校芸術文化ふれあい事業など優れた文化芸術の鑑賞機会の充実			
		中学校総合文化祭・高等学校総合文化祭の開催			
	「心の冒険・サマースクール」開催、「AFPYの手引き」の充実と活用促進				
	中山間地域での民泊体験活動の推進				

- ◆ いじめ等の未然防止・早期対応、いじめ解消率100%をめざし、スクールカウンセラー(S C)やスクールソーシャルワーカー(S S W)等の配置により、児童生徒の状況に応じた適切な相談・支援体制の一層の整備・拡充を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「山口県いじめ防止基本方針」の策定	いじめの防止等へ向けた広報・啓発活動の取組強化			
		地域ぐるみのいじめ防止等の取組の推進			
		「いじめ問題対策協議会」、「いじめ問題調査委員会」等の設置			
	小中連携による諸課題の解決に向けたS Cの配置拡充				
	S S W配置市町の拡大		S S Wの全市町配置		S S Wの資質向上
	インターネットによるいじめ・犯罪等への対応の充実(専門的技術を有する民間企業と連携した体制の整備)				
	【主な推進指標】 不登校児童生徒数(千人当たり)、 暴力行為発生件数 減少させる いじめの解消率 100%に近づける				

④ 子ども元気創造プロジェクト

推進方向

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むため、「食育」「遊び・スポーツ」「読書」に一体的に取り組む「子ども元気創造」の取組を効果的に展開し、心身ともに健康で、たくましい子どもたちを育成します。

具体的な取組内容

- ◆ 望ましい食生活の定着のために規則正しい生活習慣の確立を図るとともに、学校、家庭、地域が一体となって、幼児、児童生徒の発達に応じた取組を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	幼児、児童生徒の発達に応じた望ましい生活習慣の形成・定着				
	県内全小学校を対象に「『食事、運動・遊び、読書』90日元気手帳」の活用				
	子ども元気創造推進隊の派遣				
	栄養教諭の増員等による食育推進体制の充実 地場産食材の活用等による給食献立の工夫と食に関する指導の促進 「食に関する指導実践事例集」等を活用した実践事例の紹介 改訂版「食に関する指導の手引」(仮称)の作成・活用				
【主な推進指標】朝食を毎日摂っている児童生徒の割合 増加させる					

- ◆ 幼児期から小学校の子どもたちを対象とした多様な運動経験及び運動機会の充実に向けた取組を推進します。また、運動習慣の定着していない生徒を対象に運動機会を提供する取組を支援し、運動習慣の定着をめざします。さらに、山口県で開催される全国高等学校総合体育大会(H28年度)、全国中学校体育大会(H30年度)の開催に向けた準備、競技力向上の取組を充実します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「体育授業マイスター」等による出前授業等を通じた各学校の取組の改善・充実				
	発達の段階に応じた運動・遊び「元気体操(仮称)」映像資料等の作成・配付及び活用による運動習慣等の定着				
	運動習慣の定着していない生徒への運動機会を提供する取組(「総合スポーツ部(仮称)」等による活動)の支援				
	全国高校総体に向けた取組 準備委員会設置 → 実行委員会の設置 → 全国高校総体開催				
	全中大会に向けた取組				
【主な推進指標】児童生徒の体力合計点 昭和60年頃の水準まで段階的に向上 運動をほとんど毎日行っている児童生徒の割合 増加させる					

- ◆ 「山口県子ども読書活動推進計画(第3次)」に基づき、学校や家庭における子どもたちの読書習慣の定着や、読書好きな子どもの増加を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	山口県子ども読書活動推進計画(第3次)策定				
	学校、家庭、地域全体で子どもたちの読書習慣の定着を図る事業の実施 公立図書館職員や民間ボランティア、司書教諭向けの研修メニューの実施				
【主な推進指標】読書が好きと感じている児童生徒の割合 増加させる					

⑤ グローバル人材育成プロジェクト

推進方向

目標や課題にチャレンジし、グローバルな視点やリーダーシップをもって行動できる人材の基盤となる資質能力の育成に向け、郷土をはじめ日本や諸外国の伝統・文化を理解・尊重する態度や国際協調・協力を実践する態度、実践的な語学力・コミュニケーション能力等を育成します。

具体的な取組内容

- ◆ 日本人としてのアイデンティティをもちながら、諸外国の文化や風土に対する興味関心を高め、他国や自国・郷土の文化に対する理解を有する人材の育成を推進するとともに、海外の姉妹校との交流などにより、国際協調・協力を実践する態度の育成を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	教材の作成・活用等による、授業等における伝統や文化を学ぶ機会の充実				
	世界で活躍する人材が行う児童生徒向け学校講演会（グローバルセミナー）の開催			全校実施を検討	
	高校生の留学支援の充実（留学経費支援、留学経験者ネットワークづくり）				
	教育活動の一環としてボランティア活動を充実				
	ボランティアバンクの設置		世界スカウトジャンボリーを活用したボランティア活動の充実		

- ◆ 児童生徒の英語の使用機会の拡充や英語学習に対するモチベーションの一層の向上を図るとともに教員の英語力や資質能力の向上を図ります。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	小中高生対象のイングリッシュキャンプの開催		イングリッシュキャンプの充実		
	高校生英語ディベート大会・セミナーの開催			英語ディベート大会の充実・拡大	
	スーパーグローバルハイスクール等におけるコミュニケーション能力・問題解決能力等の国際的素養の育成に向けた取組の実施				
	県立学校ALT（英語指導助手）の増員及び多様な場面での活用				
	英語の様々な検定試験（英検、TOEFL等）の活用、合格者の増加				
	【主な推進指標】英検2級・準2級を受験した高校生 毎年3,000人以上 英検2級・準2級に合格した高校生 毎年1,000人以上				

⑥ ものづくり人材育成プロジェクト

推進方向

科学技術の進歩や産業構造が変化する中、子どもたちが地域産業を理解し、ものづくり等への興味・関心をもつとともに、将来の地域産業を担う人材となれるよう、地域や産業界等との連携を深め、実践的な学習活動の展開やきめ細かな就職支援の充実を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 児童生徒の心身の成長の過程に応じて、産業への理解やものづくり等への興味・関心を喚起し、望ましい勤労観・職業観を育成します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	学校と家庭、地域、産業界等が連携した、“オールやまぐち”での職場見学、職場体験、インターンシップの充実				
	「産業人材実地セミナー」の実施				
	【主な推進指標】体験的なキャリア教育※の実施割合（公立小・中・高等学校）100% ※職場見学、職場体験活動、インターンシップ、大学・企業訪問等				
	ものづくり教室等への参加、自主開催の促進 ものづくりフェスタへの参加				

- ◆ 企業や大学等の設備・技術や人材等を活用した生徒の実践的な知識・技術の習得や全国大会等に向けた取組を進め、本県産業を支える将来のスペシャリストを育成します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	専門高校における地域産業連携型カリキュラム（地域産業と連携した課題解決学習・技術研修）の実施		企業等との連携拡充 実施校の拡大		
			手引き作成・配付		
			推進協議会の開催、全国産業教育フェア山口大会(H30)に向けた取組と発表機会の充実		
			全国大会等への挑戦に向けた取組の支援		
	企業の熟練技能者や講師を活用した専門的資格取得の推進 職業資格講座の開催等				
【主な推進指標】 職業教育技術顕彰受賞生徒（ハイレベルな資格を取得した生徒）の割合 25%					
基礎的な技術・技能を高めるための実験・実習設備等の充実					

- ◆ 関係機関と連携しながら、「ガイダンスの充実」「求人開拓の強化」「マッチングの促進」の3つの柱を推進し、生徒の意向を踏まえたきめ細かな就職支援を行います。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	・高校生就職サポーター配置		ガイダンスの充実		
	・総合支援学校就職支援コーディネーター配置		地域産業の魅力を伝えるセミナー（専門高校2年生）の実施		
			求人開拓の強化		
			マッチングの促進		
【主な推進指標】高校生の就職決定率 100%に近づける					

⑦ 魅力ある学校づくりプロジェクト

推進方向

選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開など、質の高い高校教育を提供するため、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備を推進します。また、障害の多様化や児童生徒数の増加等に対応した総合支援学校の整備ときめ細かな支援体制の充実等を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 「確かな学力の育成」「将来のスペシャリストの育成」「生徒の多様なニーズへの対応」「柔軟な学びのシステムの構築」を踏まえた特色ある学校づくりと社会の変化や少子化の進行などに対応するための学校・学科の再編整備を年次的・計画的に進めます。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	
取組内容	「県立高校将来構想」の検証		「第2期県立高校将来構想」の策定		「第2期県立高校将来構想」に基づく推進	
	特色ある学校づくりの推進					
	「特色ある学校づくり」HPの公開		「めざす学校像」「育てたい生徒像」を明確にした個性化・多様化を図る特色づくりの推進			
	全日制普通科の通学区域の全県化の検討		全県化に向けた周知		全県化の円滑な実施(H28年度入学者選抜から)	
	入学者選抜の改善についての検討					
	学校・学科の再編整備等の推進					
	下関中央工業高校と下関工業高校の再編統合に向けた準備				下関地域に県下最大規模の工業高校を開校	
	周防大島高校の「地域創生科」設置に向けた準備		周防大島高校の活性化		「福祉専攻科」設置に向けた準備	「福祉専攻科」設置
	定時制・通信制の再編整備についての具体的な計画の検討			昼間部・夜間部を併せもつ多部制高校の設置と多部制高校への通信制の併置等の再編整備計画策定・実施		
	奈古高校の分校化の検討		分校化に向けた準備		奈古高校の分校化	

- ◆ 県内を3エリア（県東部、県中部、県西部）に分けたきめ細かな指導・支援体制及び教育環境の充実や障害の多様化や児童生徒数の増加等に対応した総合支援学校の整備、さらには、一人ひとりの心がつながる共生社会の形成に向けた特別支援教育を推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	
取組内容	視覚・聴覚障害教育センター設置準備		設置	各エリアでの視覚障害教育センター及び聴覚障害教育センターにおけるきめ細かな支援		
	児童生徒数の増加等に対応した総合支援学校の計画的な整備					
	タブレット型情報端末による障害種ごとの効果的な指導方法の確立と成果の普及					
	検証・見直し		「山口県特別支援教育ビジョン実行計画(第2期)」の見直しに基づく推進			
	美祢・長門地域への分教室の設置等による地域の特色を生かした「交流及び共同学習」などの実施に向けた取組					
	全国トップクラスの就職率を目指す新しい職業学科(高等部)の設置に向けた取組					
インクルーシブ教育システムの構築に向けた、小・中学校のコミュニティ・スクールとの連携によるモデル校での実践研究や特別支援教育フォーラムを実施						

⑧ 安心・安全な学校づくりプロジェクト

推進方向

子どもたちが安全に、安心して教育が受けられるよう、東日本大震災等を教訓とした防災対策や学校施設の耐震化等を推進するとともに、学校や通学路における安全確保対策の充実を図ります。

具体的な取組内容

- ◆ 平成27年度末を目標に県立高等学校・総合支援学校及び市町立幼稚園・小・中学校の施設耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策の完了に向けて取り組みます。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	県立学校の耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策				
	市町立小・中学校の耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策支援				
	市町立幼稚園の耐震化及び屋内運動場の天井等落下防止対策支援				
	【主な推進指標】 県立学校の耐震化率 完了 市町立小・中学校の耐震化率 完了 市町立幼稚園の耐震化率 完了				

- ◆ 子どもたちが自らの命を自ら守るために主体的に行動することができるよう、山口県学校安全推進計画に基づき、防犯を含む生活安全、交通安全及び災害安全の学校安全3領域の取組を総合的かつ効果的に推進します。

年度	H25	H26	H27	H28	H29
取組内容	「山口県学校安全推進計画」策定 (H27.3月)		学校安全の「推進モデル」を活用した、各学校のPDC Aサイクルに基づいた学校安全の取組の推進		
	「通学路の安全確保に向けて」作成		警察等の関係機関と連携した交通安全対策の強化 市町への通学路安全対策アドバイザーの派遣		
	各学校への防災アドバイザーの派遣等による防災管理体制の強化 防災マニュアルの不断の見直し				
	全県立学校への衛星携帯電話の整備・運用、必要な防災備品の整備				
	全公立学校への携帯メールによる学校安全情報配信システム整備				
	【主な推進指標】 児童生徒の登下校における交通事故件数 減少させる 携帯メールによる情報配信システムを整備している 公立学校の割合 (幼・小・中・高・特支) 100%				

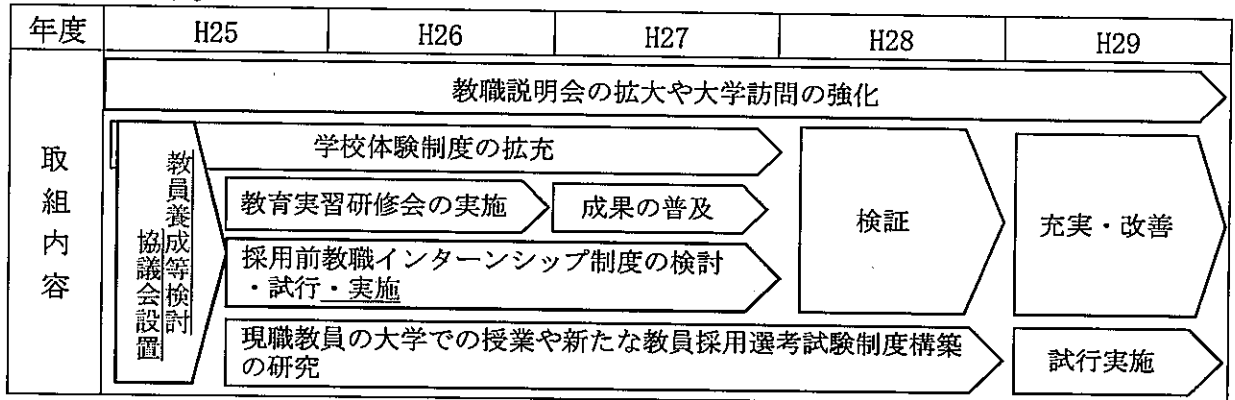
⑨ 教職員人材育成プロジェクト

推進方向

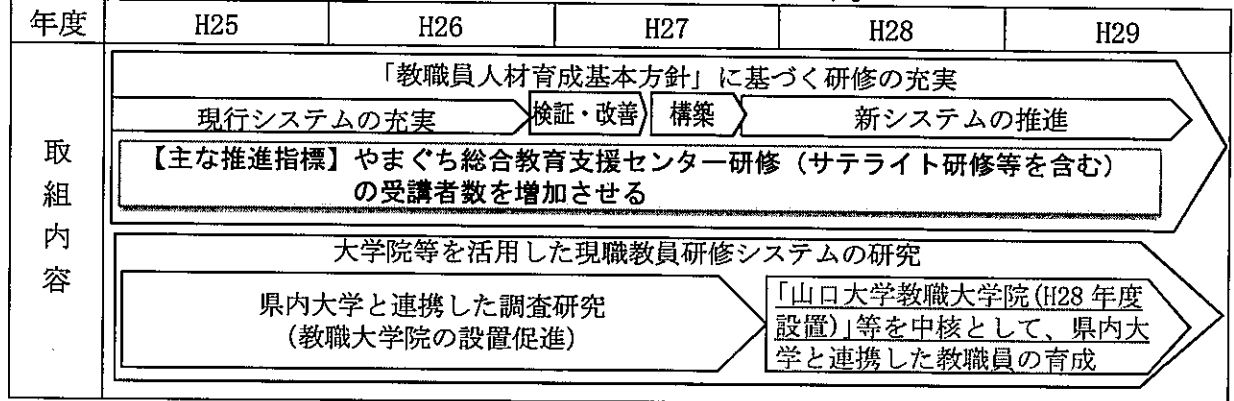
今後、教職員の大量退職が加速化し、新規採用教職員の増加が見込まれることから、「教職員人材育成基本方針」に基づき、意欲と実践的指導力を有する教職志願者の確保や現職教員の継続的な育成、さらには、学校運営・校内指導体制の充実に向けた取組を推進し、複雑化・多様化する教育課題に的確に対応できる教職員の育成を図ります。

具体的な取組内容

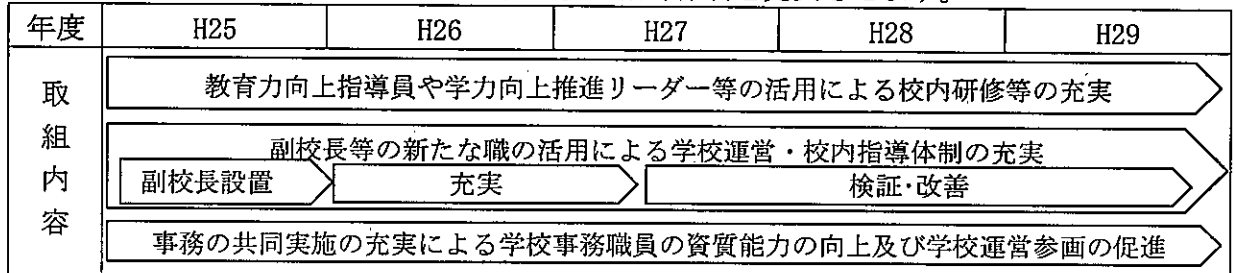
- ◆ 高い意欲と実践的指導力を有する人材の確保や若手教職員の育成のため、「山口県教員養成等検討協議会(H25年度設置)」を通して、大学等との連携を強め、教員養成や採用選考の改善を図ります。



- ◆ キャリアステージに応じた研修の充実、特に、若手・中堅段階の研修の強化により、教職員一人ひとりの資質能力や意欲の向上を図るとともに、教職大学院等の活用により、教職生活全体を通じて学び続ける教職員を支援する体制づくりを推進します。



- ◆ 校内研修の充実やOJTの推進により、学校運営の中核となるミドルリーダーや管理職の育成に向けた取組の充実を図り、学校運営・校内指導体制を充実させます。



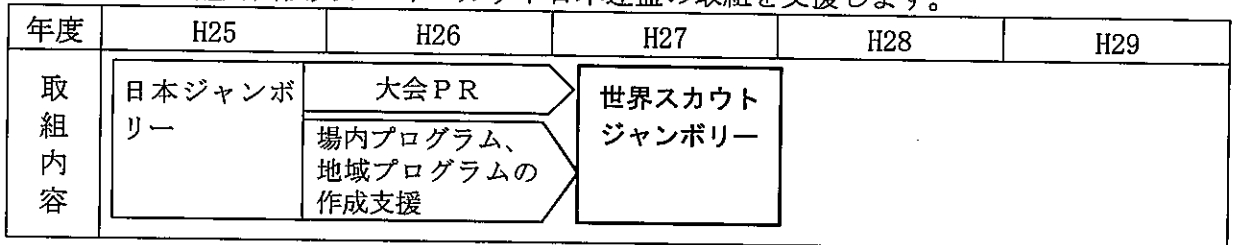
⑩ 世界スカウトジャンボリー開催プロジェクト

推進方向

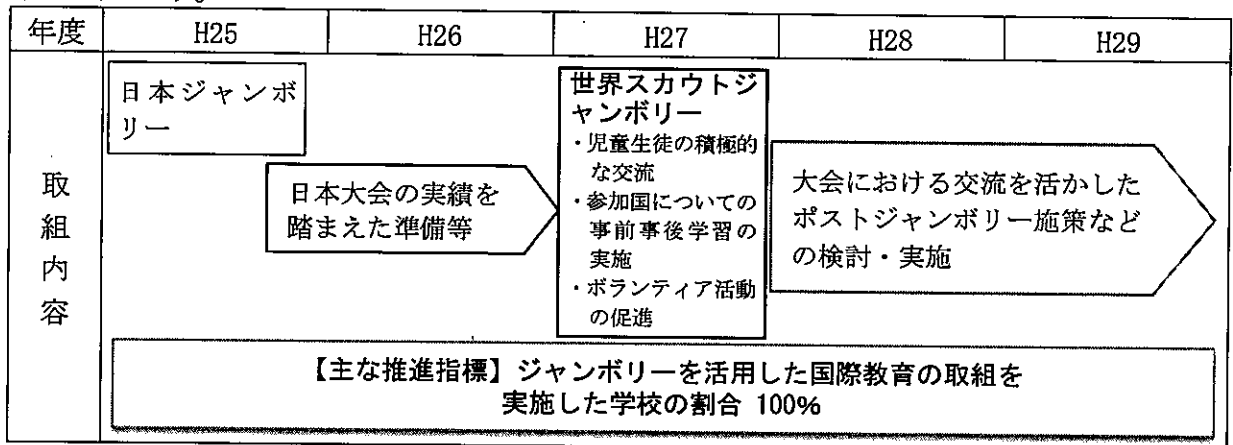
第 23 回世界スカウトジャンボリーの開催に向けて、山口県支援委員会を中心に機運の醸成、開催支援等を行います。また、大会を通じて、国内外のスカウトと本県児童生徒との交流を促進するとともに、大会の成果を活かした取組を推進し、次代を担う青少年の国際理解と健全育成を推進します。

具体的な取組内容

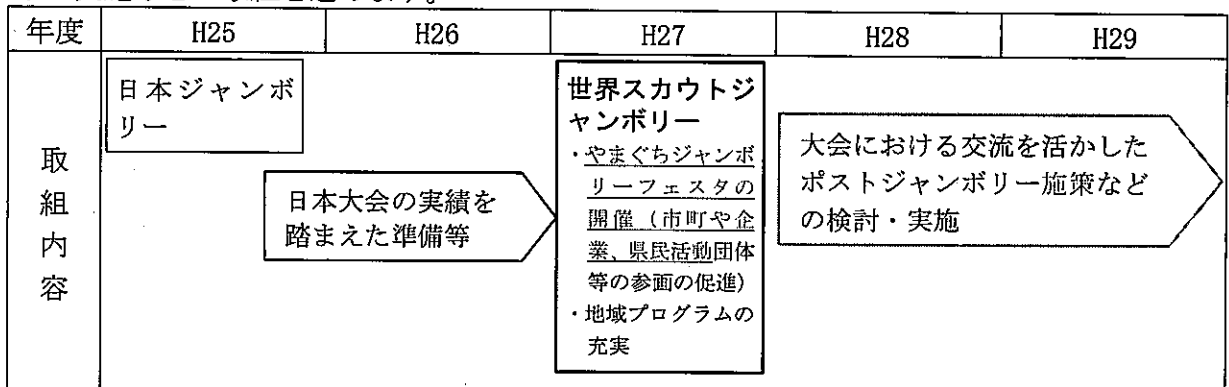
- 山口県支援委員会を通じて、開催機運の醸成を行うとともに、円滑な大会運営に向けて実施主体である公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の取組を支援します。



- 会場内のプログラムや全市町で実施する地域プログラムにおいて国内外のスカウトと本県児童生徒との交流を積極的に行うとともに、大会を契機に、参加国についての事前事後学習の実施など国際教育の推進や、ボランティア活動の活性化など青少年の健全育成に向けた取組を進めます。



- 「県民の力」「地域の力」を発揮し、会場内で、スカウトと県民の国際交流の場や、産業・観光・文化など本県の魅力を発信する場となる、県主催の国際交流イベント「やまぐちジャンボリーフェスタ」を開催するとともに、地域プログラムにおける全市町での歓迎・交流行事の実施などの取組を進めます。



50の主な推進指標

指標名	計画策定時	現状値	目標値(H29)
1 「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立学校の割合	小 63.2% 中 14.8%	小91.4% 中66.9% (H25)	100% 100%
2 体系的なキャリア教育の実施割合(公立小・中・高等学校) ※生涯学習、民間企業活動、インターンシップ、社会実習等	小 100% 中 100% 高 90.7%	小100% 中100% 高94.5% (H25)	100% 100% 100%
3 小・中・高の3校種で合同研修を行う「授業づくり研修会」に参加した教員数(公立)	195人	417人 (H26)	500人
4 英検2級・準2級を受験した高校生の数	2,555人	2,644人 (H25)	3,000人以上
5 英検2級・準2級に合格した高校生の数	905人	927人 (H25)	1,000人以上
6 職業教育技術顕彰受賞生徒(ハイレベルな資格を取得した生徒)の割合	19.6%	20.1% (H25)	25%
7 全国学力・学習状況調査(正答率)の全国平均との差	(全国) (差) 国語A 64.3%(62.7%)(+1.6) 国語B 50.2%(49.4%)(+0.8) 算数A 77.9%(77.2%)(+0.7) 算数B 59.9%(58.4%)(+1.5) 国語A 77.3%(76.4%)(+0.9) 国語B 68.3%(67.4%)(+0.9) 数学A 65.5%(63.7%)(+1.8) 数学B 44.2%(41.5%)(+2.7)	(全国) (差) 73.6%(72.9%)(+0.7) 57.8%(55.5%)(+2.3) 79.5%(78.1%)(+1.4) 58.6%(58.2%)(+0.4) 80.7%(79.4%)(+1.3) 52.4%(51.0%)(+1.4) 70.3%(67.4%)(+2.9) 62.6%(59.8%)(+2.8) (H26)	小・中学校 全区分で全国 平均を2ポイント 上回る
8 勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 62.2% 中 59.0%	小62.5% 中60.6% (H26)	増加させる
9 ジャンボリーを活用した国際教育の取組を実施した学校の割合	—	100% (H26)	100%
10 読書が好きと感じている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 72.3% 中 73.2%	小73.5% 中73.1% (H26)	増加させる
11 学校以外で月に1冊も本を読まない児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 23.8% 中 31.0%	小20.5% 中30.3% (H26)	減少させる
12 人権教育に関するサテライト研修等への県教委からの講師派遣回数	27回	35回 (H26)	50回
13 体育の授業以外に運動や外遊びをほとんど毎日(週3日以上)行っている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 73.5% 中 56.4% 高 74.7% (H25)	69.2% 55.5% 74.4% 55.7% (H26)	増加させる
14 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(体力8項目の結果をそれぞれ10点満点で得点化した合計点)の県平均点(公立小・中学校)	小5男 53.6点 小5女 54.4点 中2男 41.5点 中2女 48.5点	53.6点 51.4点 41.1点 48.8点 (H26)	54.6点 55.4点 42.5点 49.5点
15 朝食を毎日摂っている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 90.1% 中 87.8%	92.1% 90.5% (H26)	増加させる
16 朝食を毎日摂り、排便が毎日ある児童生徒の割合(公立小・中学校)	小男 72.8% 小女 67.4% 中男 76.9% 中女 58.4%	69.1% 66.0% 78.2% 61.6% (H26)	増加させる
17 総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職率	98.4%	95.9% (H25)	向上させる
18 発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の個別の指導計画の作成率(幼・小・中・高)	96.0%	97.7% (H26)	100%
19 発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の個別の教育支援計画の作成率(幼・小・中・高)	95.7%	97.7% (H26)	100%
20 幼稚園・保育所等と連携した取組を実施している公立小学校の割合	77.2%	100% (H26)	100%
21 下位校児童生徒数(千人当たり)	小・中 9.7人 高 5.1人	小中10.1人 高4.8人 (H25)	減少させる

指標名	計画策定時	現状値	目標値(H29)
22 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 81.1% 中 77.4%	小84.4% 中78.7% (H26)	増加させる
23 以上の解道率(公立小・中・高校、総合支援学校)	88.4%	93.0% (H25)	100%に 近づける
24 1,000人当たりの暴力行為の発生件数(公立小・中・高校)	4.2件	4.3件 (H25)	減少させる
25 高校生の就職決定率	97.7%	99.0% (H25)	100%に 近づける
26 中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	中 98.9% 高 97.8%	中99.0% 高97.7% (H26)	増加させる
27 AFPアドバイザーの登録者数	H25からの取組	21人 (H25)	100人
28 博物館の出前授業、館内授業の年間利用者数	18,384人	23,195人 (H25)	20,000人
29 県立学校の耐震化率	93.6%	95.1% (H26.4)	完了 (H27)
30 市町立学校の耐震化率(市町立小・中学校)	74.8%	80.8% (H26.4)	完了 (H27)
31 市町立幼稚園の耐震化率	47.3%	52.7% (H26.4)	完了 (H27)
32 携帯メールによる情報配信システムを整備している公立学校の割合(幼・小・中・高・特支)	81.2%	90.6% (H27.1)	100%
33 児童生徒の登下校における交通事故件数	小 15件 中 28件 高 75件	小11件 中14件 高73件 (H25)	減少させる
34 やまぐち総合教育支援センター研修(サテライト研修等を含む)の受講者数	12,701人	14,298人 (H27.1)	15,000人
35 コミュニティスクールの設置率(市町立小・中学校)	67.3%	80.1% (H26.4)	100%
36 関係者評価を実施している公立学校の割合(幼・小・中・高)	95.5%	100% (H26)	100%
37 異校種間の授業参観や情報交換会を実施した公立学校の割合	小 100% 中 100% 高 100% (H25)	小100% 中100% 高100% (H26)	小 100% 中 100% 高 100%
38 各高校で開催される体験入学や学校説明会に参加した中学生の延べ人数	17,615人	17,820人 (H25)	20,000人
39 子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	93.6%	96% (H25)	100%
40 私立学校(幼・中・高)の耐震化率	中・高 58.1% 幼 77.3%	68.1% 79.4% (H25)	中・高100% 幼100%
41 家庭教育出前講座の受講者数(累計)	3,927人	6,442人 (H26)	8,300人
42 「地域協育ネット」コーディネーター養成講座受講者数(累計)	250人	566人 (H26)	875人
43 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」閲覧件数(H26アクセス数/年)	126,708件	131,256件(H25)	165,000件
44 地域社会における人権教育の指導者養成に係る県教委主催の研修会の受講者数	230人	258人 (H26)	300人
45 国及び県の主催事業である学校芸術文化ふれあい事業を活用して文化芸術の鑑賞を行った児童生徒の割合(公立小・中学校)	34.7%	43.3% (H26)	現状値の 維持・向上
46 文化財出前講座、文化財愛護教室、発掘現場公開説明会への受講又は参加人数(累計)	1,015人	7,327人 (H26)	7,000人
47 県文化財ウェブページ閲覧件数(H26アクセス数/年)	228,000件	240,171件 (H25)	278,000件
48 県民のスポーツ実施率	62.3%	—	全国トップレベル(H34)
49 国民体育大会総合成績	15位	22位 (H26)	10位台の 維持・定着
50 「我がまちスポーツ」の取組への参加者数	65,000人	75,000人 (H25)	100,000人 (H34)

※印は、「チャレンジプラン」の活力指標

4 計画の着実な推進

市町教委、関係機関・関係団体等との連携

■ 計画の効果的な推進に当たっては、国や市町の取組のみならず、学校、家庭、地域をはじめ、大学や民間企業等との適切な役割分担のもと、県民総参加による本県らしい特色ある教育を推進していきます。

計画の進行管理

■ 各施策について、PDCAサイクルの考え方に基づく点検・評価を行い、教育関係の有識者で構成する「山口県教育振興推進会議」における意見を踏まえ、点検・評価方法の見直しや、施策内容の見直し・改善などを反映します。